

- | | | | |
|-------|---------------------------------|-------|--|
| 01 | 新春のご挨拶 | 09 | 委員会活動報告 地域包括ケア推進委員会
地区支部コーナー |
| 02 | 名古屋地区支部再編 | 10 | 看護師基礎教育を考える会
業務委員会・まちの保健室委員会が令和元年度をもって廃止 |
| 03-04 | シリーズ 病院・地域をつなぐ
医療と生活をつなぐ看護師 | 11 | ホッとな看護&ホッとな日常
マンスリーニュース |
| 05-06 | 新会館建設に関する
会員アンケート調査結果 | 12 | ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業
令和元年度 三職能集会のお知らせ
次年度の「みどり募金」について |
| 07 | 助産師出向支援事業について
訪問看護ステーション出前講座 | 13-14 | ナースセンターニュース |
| 08 | 表彰受賞者の紹介
義援金のご報告
選挙公報 | 15 | 理事会報告／お知らせ |

伊良湖岬 ロングビーチの日の出

<http://www.aichi-kangokyokai.or.jp>

健康であること、
幸福であること、
そのための看護。

公益社団法人 愛知県看護協会

新春のご挨拶

愛知県看護協会 会長
鈴木正子



新年あけましておめでとうございます。

令和に入って初めての新年の日々、いかがお過ごしでしょうか。

さて、皆様には「Nursing Now」というキャンペーンにご協力いただいています。ナイチンゲール生誕200年の今年末まで、看護職への関心を深め、地位を向上することにより、人々の健康の向上に貢献することを目的に展開されている世界的なキャンペーンです。日本では厚生労働省と日本看護協会が事務局を務め、医療に関係する多くの団体の参加、後援を得て活発に活動しています。

このキャンペーンの発端は、英国の国際保健に関する議員連盟による「トリプル・インパクト」と題した報告書です。ここには、看護が発展することが、世界各国の「健康の向上」・「男女平等の推進」・「経済成長の支援」という3つ（トリプル）にインパクトを及ぼす、つまり貢献すると記されています。

わが国では働く女性の少なくとも17人に1人は看護職といわれています。女性が男性と同等またはそれ以上に力を発揮でき、また、長期的に働き続けることのできる職業です。看護職が地域包括ケアに貢献することは、地域社会において看護職自身が自信と尊敬を得るとともに、地域の活性化につながります。報告書は、何より、健康は経済成長に寄与するとしています。看護・医療への支出は経済への足かせでなく、雇用の創出、雇用の安定をはじめ、様々な分野で広く生産性の向上に効果を及ぼし、国の経済成長に強く影響するということです。そして、看護は国の政策に深く関与する存在であることにも言及しています。

私たちは、日々、病気に、患者に向き合い、治療とケアに懸命に取り組むあまり、その視野は狭くなりがちです。しかし、私たちの日々携わるこの職業が、健康という大切なものを通じて、政治・経済に強い影響を持つものであることをこの報告書、キャンペーンは教えてくれています。看護にはそれだけの力と可能性があるのです。看護職は、一人一人が大きな可能性を持った社会人なのです。看護協会のように、「協会」に所属するということは、日常の職場を超えて、社会との接点を持つことでもあると思います。

一年の初頭にあたり、自分に関わるいろいろなことを、視野を広げて見つめ直してみたいでしょうか。そこに思わぬ発見があるかもしれません。

皆様の健康とご多幸をお祈りいたしますとともに、愛知県看護協会への一層のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年4月
スタート

名古屋地区支部の地区割再編

1地区支部から4地区支部へ

2025年に向けて国・県は地域医療構想を策定し、実効性のある地域包括ケアシステムを速やかに構築するための事業を進めています。愛知県看護協会においては、平成26年度より地区支部活動の強化を重点事業に掲げており、平成30年度から二次医療圏と整合させ、7地区支部から10地区支部に再編することにより、地域包括ケアシステムを推進できる体制としてきました。しかし、名古屋地区支部においては地区支部再編により東西の2分割をひとつにしたことから、地域・会員数共に大規模化し地域に密着した活動ができにくくなったという課題が生じました。

「地域住民が住み慣れたところで療養しながら、自分らしく最期まで暮らす社会」を実現するためには、病院・施設と地域の看護職、医療と介護の連携にとどまらず市町村単位で行政との連携が重要になってきます。現行の名古屋地区支部の大規模体制では地域と密着した活動には程遠い状況となるため、令和2年4月から名古屋地区支部の地区割を変更します。

これにより地区支部活動がより一層強化し、地域包括ケアシステムの構築・推進ができると考えますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



現行	改正後(令和2年4月1日から)	
名称	名称	市区町村
名古屋地区支部	名古屋東地区支部	守山区、名東区、千種区、昭和区
	名古屋西地区支部	中村区、熱田区、中川区、港区
	名古屋南地区支部	瑞穂区、天白区、南区、緑区
	名古屋北地区支部	北区、西区、東区、中区、北名古屋市、清須市、豊山町

(常務理事 小池 三奈美)

住み慣れた家や地域で最期まで暮らしたい～その願いを私たちが支えます！

看護小規模多機能居宅介護 ナースケアホーム覚王山

介護が必要になっても、病気になっても「住み慣れた家で穏やかに過ごしたい」、こんな願いを持っている方は多いのではないのでしょうか。医療依存度が高い方、退院直後で状態が不安定な方が安心して利用できる介護保険サービスが「看護小規模多機能居宅介護（看多機）」です。「看多機」は利用者様の状態に合わせて「通い」「泊り」「訪問看護」「訪問介護」という4つのサービスを組み合わせて利用することができます。

Aさんは要介護1で、慢性関節リウマチで入院し、ステロイド内服に伴う糖尿病にてインスリン投与が開始されました。しかし、血糖測定やインスリンの自己注射も難しく、同居の娘さんも不安な状態でした。退院直後は、体力的に長時間の通いサービスは難しいと判断し、短時間からの「看多機」利用を開始しました。また、娘さんも持病があり体調が優れない時は、Aさんにショートステイを利用して頂きました。同時に娘さんへの血糖測定・インスリン注射の手技も指導を行いました。Aさんは「家で過ごすことができ嬉しい。娘の身体も心配なので困った時に助けていただけてありがたい」と話しています。

このように看多機は柔軟にサービスを変更でき、利用者やご家族の状況が変わった場合も臨機応変に対応ができます。

今後の課題として「看多機の仕組みは複雑で分かりにくい」とよく言われます。地域の方にもっと看多機を知っていただき、ご利用いただけるようこれからも努めていきます。

(看護師 庭本 美穂)

病院と施設をつなぐ「交換研修」～知ることからはじめる。顔の見える連携～

老人保健施設ひまわり

地域包括ケアシステムにおいて医療と介護のより深い関係の構築が問われる今、「顔が見える連携」が求められています。そこで、今年度よりお互いを「知る」ために施設と病院の「交換研修」をはじめました。

この研修の目的は、「知る」ことにより、病院の看護師が患者さんの退院後の生活の場となる施設のイメージを明確に持ち、入院早期より具体的に退院支援に活かすことができるようになることです。

施設では、身体抑制は行いません。施設での研修を通して、病院の看護師が「この患者さん、施設希望だからミトン(抑制手袋)を外せるようにしないとダメよね」と発言するようになったと病院の看護部長から報告がありました。これは病院看護師が施設の機能を理解し、入院早期から退院後の「生活の場」を考慮したケアに活かしているからです。施設を知ってもらうことで、早期から施設環境に合わせた具体的な退院支援(抑制の解除や薬の調整など)ができるようになれば、患者さんも安心して病院を退院し、施設に入所できると思います。わずか1日の研修ですが、病院看護師と交流したことで顔の見える関係ができ、病院への壁が低くなり連携強化につながったと感じています。

今後は施設から病院への交換研修を始めます。病院の事情を知らないまま相手に求めすぎたり、あきらめたりしている現状から、相互の場や状況を理解し、ケアの実際やカンファレンスの内容を知ることで利用者さんが安心できるケアの提供につながると考えています。

(看護師 青柳 富士乃)



全世代型地域包括ケアシステムをめざして、療養施設では様々な取り組みをしています。

シリーズ最終回は、地域の施設で働く看護師の活動を紹介します。

利用者、家族をつなぐ緩和ケア

在宅型有料老人ホーム GARO HOME 鶴舞

GARO HOME 鶴舞は2018年11月5日にオープンした、がん・難病専門緩和ケアの在宅型有料老人ホームです。

急性期の病院の平均在院日数が10日～14日の中で、転院、退院を告げられたり、在宅介護で疲弊した家族から、「痛みや苦しみを取ってほしい」「リハビリをして少しでも動けるようにしてほしい」「食事が一口でもできるようにになりたい」「医療行為が多くて家ではみれないからケアしてほしい」等の心の中からの思いが伝わってきます。

そのためGAROでは、病院の看護師が行う医療行為は基本全て提供できる体制を整えています。大切にしていることは「テクテク、パクパク、ワクワク、ニコニコ、ドキドキ、イキイキ」この6つの言葉で、人として当たり前にしたことを諦めず最期までどうしたら叶えていけるかを家族と共に考え、意思決定の支援に力を入れています。

ALSの妻と夫の2人暮らしの方です。ショートステイを利用しながら在宅で生活をしていましたが、四肢の筋力や嚥下機能が低下して自宅にいと喧嘩になり、円満な生活ができないと悩まれていました。話を聞くと「妻を穏やかな気持ちで生活させたいんだ」という夫の気持ちが分かりました。妻が入居すると週に2回ほど顔を見せ、穏やかな表情で話ができるようになり、外出も夫が車いすを押して妻の笑顔が見られるようになりました。夫から「ここに来て良かった。家ではみれないし、喧嘩が多かった。今は気分も楽になり、笑顔でここに来れるし、車いすも押したいと思える」と言われました。明らかに自宅にいる時より、笑顔が増えた穏やかな夫婦の時間が確保されたことは、私たちの描く緩和ケアにつながったなと感じられる場面でした。

(看護師 金丸 直人)

今年度は、地域包括ケアシステムに向けた看護職の活躍を、「特集：病院・地域をつなぐ」をテーマに紹介をしてきました。春号(138号)では「保健師の活動」、夏号(139号)では「在宅療養を支える看護師」、秋号(140号)では「病院の変革」、そして冬号(141号)では「医療と生活をつなぐ看護師」を取り上げました。

地域包括ケアシステムの構築が進み、看護職の働く場や役割の拡大は進んでいます。看護職は、患者さんに最も身近で医療と介護をつなぐキーパーソンとしての役割を果たし、あらゆる場のあらゆる人々を「つなぐ」ことが期待されています。そのためには、すべての看護職の連携強化を図る必要があります。

今後は、看護職自身が活動の場や役割への理解をさらに深め、手を取り合って健康な社会・地域をつくり、住民の安心・安全な生活に貢献していくことが望まれます。そのためには、看護職自らが活動の場を広げ、社会・地域・住民にも看護職の役割を発信していくことが重要だと思いました。

(広報委員長 相田 由紀)

新会館建設準備委員会からの報告

7月に実施しました「新会館建設に関する会員アンケート調査」へのご協力ありがとうございます。全会員対象のWeb調査とし、5,697名から回答を得ましたのでご報告します。沢山いただきましたご意見ご質問につきましてはQ&Aとしてまとめました。是非ご一読ください!

新会館建設に関する会員アンケート調査結果

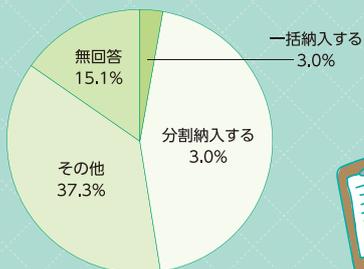
(1) 対象：全会員 (6/30現在の会員数 37,170人)

回答数	5,697
回答率	15.3%



(2) 資金負担(納入)方法について

選択肢	回答数	割合(%)
一括納入する	172	3.0
分割納入する	2,539	44.6
その他(*)	2,124	37.3
無回答	862	15.1
合計	5,697	100.0



*資金負担方法について「その他」と回答した人の記載内容 (複数回答)

	内容	回答数
その他の方法	寄付・助成を募る	241
	現在の資金内で建設する	77
	会費で負担する	50
	研修費で負担する	25
	ある程度貯まるまで建設を待つ	14
意見	払いたくない	801
	建設反対、建設の必要性がない	459
	負担感が大きい	438
	情報不足である	131
	その他	159

(3) 毎年納入する場合の金額について

選択肢	回答数	割合(%)
2,000円	1,959	34.4
3,000円	449	7.9
4,000円	64	1.1
5,000円	666	11.7
その他(**)	1,624	28.5
無回答	935	16.4
合計	5,697	100.0



**納入金額について「その他」と回答した人の記載内容 (複数回答)

	内容	回答数
金額	1,000円以下	105
	1万円	62
	1~3万円	9
	一括	3
	払わない(拒否)	661
意見	建設反対・建設不要	139
	払えない(不可)	134
	計画を見直す	114
	高い	86
	情報不足である	84
	その他	272

(4) 自由記載の内容 (複数回答)

内容 (大まかな分類)	回答数	内容 (大まかな分類)	回答数
①負担したくない、負担できない、高額である	871	⑥資産内、予算内で行うべきである	214
②議論不足、情報不足	577	⑦公平性を考えてほしい、受益者負担がよい	196
③建設は時期尚早、計画の見直しが必要	306	⑧寄附、補助金等を募る	151
④建設反対、建設不要	305	⑨現状で協会運営の効率化、経費削減を図る	75
⑤設計、立地についての意見	274	特記、その他	247

「その他」や自由記載で多数いただいた意見について、お答えします

Q | なぜ今の研修会館ではいけないのか？

A 現在の研修会館は昭和63年に建設したもので、築30年以上が経過しており、建物や設備の老朽化が進んでいます。また、建設時と比べ、会員数は2.4倍に増加し、研修数は2.6倍、受講者数も2.2倍に増えています。加えて、認定看護師教育課程などの新たな教育課程の開設や、ナースセンター、訪問看護ステーションの開設もあり、現在の建物では手狭となっています。そこで、会員の皆さまの利便性の向上や快適な教育環境を確保するため、新しい研修会館の整備が必要です。

Q | 賃貸はできないのか？

A 現在、教育センターやナースセンター等は、隣接している県の建物を賃借しています。また、一部の研修は、名古屋国際会議場等の外部会場を借りて実施しています。賃貸は、一時的な建設費が不要となる反面、継続的に相当の賃借料が必要となります。名古屋主要区内のオフィスを賃借するとして試算すると、10年ほどで移転新築費用とほぼ同額の費用が必要となることがわかりました。賃貸には割高感があり、また、設備や間取り等に制限があることなどから、現在のところ積極的な検討は行っていません。

Q | 新会館の広さ、建物、設備は？

A 将来の会員数の見込みや事業内容、研修内容の見直しなどを踏まえ、当協会の将来像、あるべき姿に基づき、会員の皆さまの意見をお聞きしながら、今後具体的に検討してまいります。

Q | なぜ会員一人当たり6万円なのか、24億円の内訳は？

A 今回の建設資金の試算の前提は、名古屋市内の比較的中心部地域の地下鉄などの駅から徒歩10分以内の土地（約2,400㎡）を取得し、現会館の延床面積の3倍の面積（約4200㎡）の建物を建設すると想定したもので、総事業費は約34億円となります。入会時にご協力いただいている「看護研修会館施設整備積立金」の現在高は約10億円であり、24億円が不足することになります。したがって、不足額を全会員（3万8000人）でご負担いただくと、一人当たり約6万円となります。ただし、これは、あくまでも試算結果をもとにした仮定の話であり、今後、具体的な土地の取得、建物の設計等により、負担額も変動することとなります。

Q | 資産運用や収益を増やす等、協会の自助努力が必要ではないか？

A 資産運用につきましては、会員の皆さまの大切な資産であるため、リスクを回避し、安全性を第一に、県民債などの公共債と定期預金で運用しています。また、今年度から「協会だより」への広告掲載料を徴収するなど収益の確保についても取り組んでいますが、当協会は公益社団法人であるため、収益事業を積極的に行うことは難しい状況にあります。今後も効率的な協会運営に努め、経費削減等の自助努力に努めてまいりますので、ご理解をお願いします。

Q | 他県の状況は？

A 最近では、東京都看護協会が会館整備を行っています。平成24年頃から建て替えの検討を行い、28年に土地を取得（32億円）、31年4月に建物が竣工しました。新会館建設に係る費用の上限は60億円で、旧会館の売却収入や会員から毎年5,000円徴収している会館建設積立資産、金融機関からの借入をあてています。また、埼玉県看護協会では、平成23年頃から検討を始め、26年に土地を購入（5億円）、29年4月に建物が完成しました。総事業費は20億円程度で、会員から入会の際に徴収している36,000円を会館整備のための資金として積み立てており、その積立資金をあて、金融機関からの借入は行っていません。

Q | 何年後に取り掛かるのか？

A 平成29年度に設置された会館整備検討委員会（特別委員会）からは、アンケート調査の結果などを踏まえ、10年以内を目標に建設計画を進めるよう提案がありました。現在の建物は築30年が経過し老朽化が進んでいることから、土地の取得時期や、資金計画の内容にもよりますが、当面は、委員会からの提案通り10年以内を目標に建設計画を進めたいと考えています。

助産師出向支援事業について

<About midwifery seconding support project>

愛知県内で就業する助産師は約2,200名で、その58%が病院、28%が診療所に勤務しています。一方分娩件数は病院、診療所でほぼ同数で、多くの助産師が勤務する病院では帝王切開術が多く、正常分娩が少ないために助産実践能力の強化について課題が多い現状です。また、診療所においては助産師不足が深刻な課題となっています。

このような状況を受け、助産師の偏在是正、助産実践能力の強化等に取り組むために今年度から県の委託を受け助産師出向支援事業が始まりました。

今年度は、2施設から4名の助産師が出向しています。10月から実際に出向している助産師は、アドバンス助産師でベテランですが、自施設の産科開設に向けて意欲的に取り組んでいます。また、1月から出向している助産師はアドバンス助産師申請に向けての臨床実践能力を向上させるために他施設での勤務に緊張しながらも頑張っています。

助産師の出向を支援するシステムが確立し、地域の周産期医療に貢献できるようこの事業に取り組んでいきます。令和2年度の実施にあたり本事業に関する意向調査を実施しています(期日2月10日)。是非、本事業への参加をお願いします。

(助産師出向支援事業コーディネーター 服部 宜子)

VOICE

出向を終えた助産師の声

公立西知多総合病院から名古屋第二赤十字病院へ出向しました。分娩介助から離れて6年経過し、助産師出向支援事業を活用することとなりました。出向先では分娩介助に携わることができ、助産師としての自信を取り戻しました。また、助産業務を実践しながら新しい産科知識を学び、産科再開に向けた具体的なイメージを持つことが出来ました。

(公立西知多総合病院 助産師 近藤 望)



Visiting Nurse Service

訪問看護ステーション

出前講座



今年度、愛知県委託事業として「訪問看護ステーション出前講座」が開始しました。

これは、訪問看護ステーションに勤務されている看護職が、半日や1日間の研修を受講するために時間の確保が難しいとのことから、必要な知識・技術を各施設の要望に応じて、講師が施設に出向き、日頃の訪問看護で困っていること、疑問に思っていることなどを、講師と対話しながら1時間程度学ぶ講座です。希望の講義内容は、感染管理、誤嚥性肺炎の予防、褥瘡処置、スキンケア、認知症看護、精神看護、看取りなど様々です。時間帯は、業務にできるだけ支障がなく、多くのスタッフが講座を受けられるよう施設の要望に応じています。(昼休憩、業務終了後など)



7月から10月までの4カ月間で、5施設に出前講座を行いました。各施設、3名～8名受講されました。

受講後のアンケート結果から、「対話しながらの勉強内容であり、よりステーション内での問題に近い内容が聞けて分かりやすかった」「褥瘡予防の方法は理解していても、根拠に関して知らない事もあり勉強になった」「認知症について身近な問題なので、現場で活かしたい」など、好評です。訪問看護ステーションで希望される方は、是非御連絡下さい。

(教育センター 江龍 美紀子)



表彰受賞者の紹介

おめでとうございます



令和元年度 秋の叙勲

瑞宝双光章 野上 宏美 氏 (看護師・元国立研究開発法人国立長寿医療研究センター看護部長)

瑞宝単光章 大原 まゆみ 氏 (看護師・元名古屋セントラル病院総看護長)

工藤 すみ 氏 (看護師・元愛知医科大学病院看護部看護婦長)



母子保健奨励賞

加藤 直実 氏 (保健師・愛知県保健医務局)

義援金のご報告

令和元年 11 月 15 日、愛知県看護協会は、中日新聞社会事業団 (名古屋市中区中日新聞本社内) へ、みとり募金から義援金 100 万円を贈りました。

令和元年 10 月の台風 19 号災害により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の 1 日も早い復興をお祈り申し上げます。



選挙公報

●令和2年度 愛知県看護協会役員等の立候補受付

令和2年度の愛知県看護協会通常総会において、理事25名、監事1名及び推薦委員9名の選挙を行います。(定款細則14条、15条) 定款細則17条により、立候補の受付を行います。立候補される正会員は、所定の手続きにしたがって届け出を行ってください。

立候補の締切り: 令和2年4月23日(必着)

選出する役員: 会長1名、副会長2名、専務理事1名、常務理事3名、地区理事13名、保健師職能理事1名、助産師職能理事1名、看護師職能理事(病院領域)1名、看護師職能II理事(在宅領域)1名、准看護師理事1名、監事(業務に精通した看護職)1名、推薦委員9名

●令和3年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の立候補受付

令和2年度の愛知県看護協会通常総会において、令和3年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を行います。(定款細則13条) 定款細則17条により、立候補の受付を行います。立候補をされる正会員は、所定の手続きにしたがって届け出を行ってください。

立候補の締切り: 令和2年4月23日(必着) ホームページに様式を掲載しております。

なお、代議員及び予備代議員の数は会員数によって割り振られ、各々38名を予定しております。

(選挙管理委員長 中富 八千代)

馬の乗り降りから基本操作まで
もちろんマンツーマンレッスンです!

リフレッシュ&癒し♪

騎乗時間: 20分、全体約90分
期 間: 4月30日まで
*装具レンタル代と保険代込で1850円(税込)が必要となります。

乗馬体験無料ご招待

- ダイエット!
- 笑顔になれる!
- インスタにアップ!
- ストレス解消!



名鉄乗馬クラブ・クレイン東海
☎0594-45-0850
三重県桑名市長島町福吉 長島スポーツランド内
平日 10:00~18:00 土日祝 8:30~17:30 定休日:火曜

・無料大駐車場あり ・桑名駅より無料送迎バスあり
ご家族の方であれば、追加1名様まで無料でご案内します!
【対 象】 小学校1年生から70歳まで(未成年の方は親権者様の同伴が必要)
【持ち物】 長スボン・靴下・手袋(軍手可)



QRコードから、お申込みが可能です

委員会
活動報告

地域包括ケア推進委員会



交流会開催 ～看護の力を発揮しよう!～

日時 令和元年11月2日(土) 参加者 38名

様々な分野で勤務をしている看護職の働き方を知ることで、地域包括ケアシステムの推進を図り今後の看護職間連携に繋げていく目的で交流会が開催されました。

シンポジストは、病院連携室看護師、ケアマネージャーの看護師、訪問看護師、行政保健師、施設看護師で、各立場からお話していただきました。それぞれの仕事の内容や課題を知ることができ、どのシンポジストからも「情報共有」「協働」というキーワードが出てきました。

意見交換会では、病院と在宅の違いや問題点、高齢者が中心となってくる地域包括ケアシステムですが、小児や精神疾患の方について等多岐にわたる話合いができました。退院前のカンファレンスなどで、生活の視点を持って情報共有することが今後の支援に繋げる上で必要だと共通認識ができました。

2025年に向けて、地域包括ケアシステムを推進していく中で、やはり要となるのは、私たち看護職だと実感しました。お互いを知りお互いを理解しながら連携をしていくことの大切さを改めて感じた交流会でした。

(地域包括ケア推進委員会 小濱 由紀子)



地区支部コーナー



地域包括ケア推進看護連携検討会

日時 令和元年11月30日(土) 会場 岡崎市民病院

テーマ 「アドバンス・ケア・プランニングを繋ぐためにあなたができること」

参加者 120名

西三河
(南部西・南部東・北部)
地区支部

11月30日「人生会議の日」にACPをテーマとして地域包括ケア推進看護連携検討会を開催しました。二次医療圏を超えた広域研修は、愛知県衣浦東部保健所、西尾保健所、愛知県看護協会西三河地区支部(南部西・南部東・北部)、岡崎幸田いえやすネットワークという多様な組織がACPの研修が必要と考えていたことから実現につながりました。

講師の日本医療社会福祉協会 会長の早坂由美子氏からは、「人生の最期に望む医療・ケアを受けられる地域を目指して」と題して、ACPとは、患者の意思を尊重した家族等・医療関係者・介護関係者との話し合いを踏まえた合意形成のプロセスであり、患者の意思を地域の中でつなぎ合うために必要なポイントについて講義がありました。

ワールドカフェ方式によるグループワークでは、各地域や所属でのACPの取組について情報交換を行い、ACPは保健・医療・福祉等の多職種が病院や施設・在宅といった様々な場で繋がっていくことが重要であること、立場や領域を超えた連携や患者への説明と理解などについての課題が共有されました。

二次医療圏を超えた様々な人と話し合いができたことが非常に良かった、刺激を受けたという意見が多く、西三河という地域を対象とした研修が今後も実施できると有意義だと感じました。

(岡崎市保健所 保健師 早川 小まり)



看護師基礎教育を考える会

日時 令和元年 11月16日(土) 参加者 199名

会場 TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口

昨年度から日本看護協会が都道府県看護協会と共催で、看護師基礎教育のあり方を考えることを目的に地域で開催しています。

参加者は、看護師養成所の教員、病院の看護職が主でした。

日本看護協会 岡島さおり理事から「看護師養成をめぐる現状と課題」と題し、10月に厚生労働省から出された「看護基礎教育検討会報告書」等最新の情報盛り込んだ講演がありました。理事は、「少子高齢化が進む中、療養生活の場は病院から在宅、施設となり、患者像は多様化、複雑化している。だからこそ、全ての看護師にこれまで以上に高い能力が求められており、看護師基礎教育の年限を3年から4年に延長する必要がある」と強調しました。

続いて、「看護師基礎教育を変える！」をテーマにシンポジウムを行いました。シンポジストは下記の通りです。



シンポジウム

「看護師基礎教育を変える！」

行政の立場から 愛知県保健医療局医務課 主幹 高口 みさき氏
看護教員の立場から ベルランド看護助産大学校 副学校長 西本 厚栄氏
臨床現場の立場から 社会医療法人財団新和会 八千代病院 看護部長 相田 由紀氏

教育機関としてどんな力をつけた看護師を育てるのか、実習病院では、限られた期間で何を重視した実習を取り入れるのか、養成所の教員と実習指導者との連携はいかにあるべきか等様々な意見が出されました。

今後、社会から必要とされる看護師を育成することは私たち看護職の役割であること、そのためには、看護協会として「看護基礎教育の4年制化」を皆様とともに強く進めていきます。

(常務理事 和久田 月子)

常任委員会 特別委員会 業務委員会・まちの保健室委員会が 令和元年度をもって廃止

業務委員会は看護師職能委員会へ、まちの保健室委員会は名古屋東地区支部へ引継ぎます。

業務 委員会

看護師業務の実態把握と業務改善に関する事業を中心とした活動をしてきました。平成28年に、看護師職能委員会がI・IIに分かれ、各職能委員会において業務の実態把握や改善への取り組みが進み、業務委員会と重複する事業を開催するようになりました。業務委員会の役割である業務の実態把握と改善については、各職能委員会が担うとし、本委員会は廃止します。

看護補助者についての課題についても、看護師職委員会が担当します。

まちの 保健室 委員会

認定看護師等による看護相談を行うことを目的に県民の健康増進に関わる事業を実施しています。平成21年度から名古屋市内のすぎ薬局を会場に、平成27年度からは八事イオンに会場を移し、看護相談・健康講座をしてきました。事業の周知が進み来場者は年間400名程となり、運営を軌道に乗せ、継続開催が望まれています。

名古屋地区支部は、令和2年4月から4地区支部に分割されます。八事イオンは名古屋東地区支部内にあるため、本委員会が実施してきた事業を名古屋東地区支部に引継ぎます。



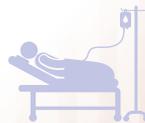
(専務理事 高木 仁美)



ホッと な看護 & ホッと な日常



身の回りで体験した、「思わずニヤリとしてしまう場面」
「温かい気持ちになる出来事」などを募集しています。
是非、皆で一緒にホッと
な気持ちになりませんか？



私は救急看護認定看護師として働いています。「急変させない看護」を目標に、院内で急変があると事例検討会やシミュレーションなどで振り返ることで経験を学びに変えることを推進してきました。しかし、急変事例の当事者が事例に向き合うことは、時に辛く苦しくなることもあり、検討会のあとは「やって良かった」と言われるものの、なかなか自発的な依頼はないのが現状でした。ところが、最近になって師長さんたちから依頼を受けるようになってきました。私が認定看護師になって15年、徐々に仲間が増えて5名体制で活動していますが、少しずつ活動の成果が実ってきているように感じています。

(ペンネーム:やまのて はなこ)

私は長い間小児病棟に勤務していました。その中で印象に残っているお子さんがいました。大きな障害を抱えてこの世に生まれてきて、短い期間でしたが、ご両親の愛情を一杯に受けて、療養していました。私たち看護師もご両親の支えになろうと、その時は精一杯看護していたつもりでしたが…。時は流れ、20余年が過ぎ、名古屋駅の近くの本屋の入り口付近で声をかけてきた男性がいました。「あの時はお世話になりました。〇〇の父です」と。すぐにわかりました。嬉しかったです。声をかけてくださったことで、何かつかえていたものが解けた思いがしました。その夜、当時の看護師たちにも連絡をしました。口々に「あの時の看護をご両親はどう思っていたのだろうか」「必死だったけどいい看護ができていたのだろうか」と。それぞれに若かったころの看護を振り返る機会になりました。

(ペンネーム:ゆぎちゃん)

体験談大募集!

身の回りで体験した
「心温まる出来事」
「ホロリと涙する場面」
などを募集しています。

〔文字数〕200~300字 〔応募方法〕郵送またはメール 〔記載事項〕氏名、施設名、連絡先、匿名希望の方はペンネーム
●郵 送…下記へ封書にて送付
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番18号 公益社団法人 愛知県看護協会 広報委員会宛て
●メール…件名を「ホッと
な看護」として右記アドレスへ送信 E-mail:aikan@aioros.ocn.ne.jp
※応募頂いた原稿は返却いたしません。広報委員会にて選考して「愛知県看護協会だより」で掲載・広報として活用させていただきます。

協会のこの2ヶ月

Monthly
News

マンスリーニュース

11月

- 1日(金) 公益法人運営に関する地区別勉強会
- 5日(火)~7日(木) 災害支援ナース派遣調整合同訓練
- 7日(木) 訪問看護認定看護師教育機関認定更新審査実地調査
平成30年度参加施設WLB情報交換会
- 16日(土) 看護師基礎教育を考える会 TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口
- 29日(金) 日本看護協会理事会 日本看護協会

12月

- 3日(火) 公益法人及び公益財団の認定等に関する法律に基づく立入検査
- 9日(月) 第5回常務理事会
- 10日(火) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 閉講式
- 13日(金) 平成30年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了生実践報告会
- 17日(火) 新会館建設準備委員会
- 23日(月) 第5回理事会、第3回地区支部長会議



災害支援ナース派遣調整合同訓練

※会場の記載のないものは、愛知県看護協会にて実施

ただいま参加施設を募集中!

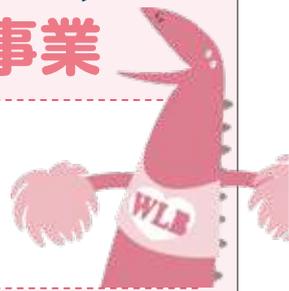
ワーク・ライフ・バランス

New Program

看護職の W L B 推進 ワークショップ事業

リニューアル

- Point1 単年度のプログラムで取り組みやすい!
- Point2 現状分析のためのデータ収集方法が選択できます!
- Point3 取り組みは労働環境改善委員会がサポートします!



申し込み期限

令和2年2月17日(月)

働き方改革の一環として、是非、ご参加ください。
詳細はホームページで実施要領をご確認ください。

申し込み・問合せ先 | メール wshop@aichi-kangokyokai.or.jp 労働環境改善委員会

令和元年度 三職能集会のお知らせ

日時 令和2年2月12日(水) 10:00~15:30 (受付9:30~)

場所 愛知県産業労働センター ウィンクあいち テーマ 今こそ、つなぐ看護職

第1部 合同集会
10:00~12:00

講演 「今こそ、つなぐ看護職 ~社会の変化をキャッチし立ち向かう~」
公益社団法人愛知県看護協会 会長 鈴木 正子

シンポジウム 「今こそ、つなぐ看護職 職能から提言」 各職能委員長

第2部 職能集会 13:15~15:30

「みとり募金」が「看護のこころ募金」にかわります!

「みとり募金」による福祉施設の助成活動は、令和2年度から名称を新たに「看護のこころ募金」として行うことになりました。これまで、ご協力いただきありがとうございました。今年度は募金活動を行いませんが、次年度から改めてお願いします。なお、「看護のこころ募金」の詳細は改めてお知らせします。

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

水と、空気と、睡眠と。

よく眠った人には、かなわない。

※—— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです ——※

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

《テーマ例》★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛東海販売株式会社

〒465-0091 愛知県名古屋市名東区よもぎ台3-203-1



0120-365039

東洋羽毛岐阜営業所

〒500-8383 岐阜県岐阜市江添3-1-11



0120-142525



2020 Winter

ナースセンター NEWS!!



愛知県ナースセンターは厚生労働大臣許可の

無料職業紹介所です。

看護職の方の就職活動を

サポートします!!

離職届けは
お済みですか?

看護師等の届出サイト

とどけるん



<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

求人・求職の
登録はこちらから

eナースセンター

都道府県看護協会による
無料職業紹介事業



<https://www.nurse-center.net/nccs>



顔の見える関係作りを大切に、病院や介護系施設等を年間約60施設訪問、
県内約45校の看護学校や大学で学生さんにナースセンターの活動や届出制度のお話しをしています。
ナースセンターを広く知って、利用していただきたい!と活動を続けています。

就職相談会 開催しました!

令和元年11月30日(土) 10時~16時 イオンモール東浦にて

就業相談や健康イベントを実施。約80名の方にお越しいただきました。
就職相談をはじめ進路相談や就業中の相談をお受けしました。イベントをホームページ等で知ったと来てくださった方や、買い物に来て見かけたから寄ってくださった方など、うれしい出会いがたくさんありました。また恒例の健康イベントでは血管年齢と肌年齢測定を実施。「看護協会のナースセンターが主催しているの、安心してください」と呼びかけると、続々と参加して下さり、相談員によるナースのプチ健康アドバイスを兼ねたイベントも大変好評でした!健康イベントをきっかけに、ナースセンターの活動を多くの皆さまに知っていただいています!

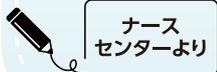
みなさん、
ありがとう
ございました!



看護職復職支援交流会 開催しました!

令和元年12月7日(土) 13時~16時 栄ガスビルにて

- 講義 「摂食嚥下の看護の実際」
公益財団法人 豊田地域医療センター 主任 遠藤 志帆 氏
- 講演 「キャリアを生かしていくために」
医療法人宏和会 瀬戸みどりのまち病院 看護部長 安西 由美子 氏
- ナースセンターからのお知らせ・交流会



●この交流会は年3回開催しています。参加された方からは、刺激を受け、あらためてこれからの看護職としての自分を考えるきっかけになったと大好評です。同じ「看護職」として共有する「場」を持つことが大切だな、と感じます。

●愛知県ナースセンター

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番15号 愛知県高辻センター1階
TEL: 052-871-0600 / FAX: 052-883-3686
メール: aichi@nurse-center.net

●名駅支所

〒450-0002 名古屋市中区区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター (ウインクあいち) 17階
TEL: 052-433-1173 / FAX: 052-433-1175
メール: meieki@nurse-center.net

ハローワーク巡回相談 実施中!

お近くのハローワークへ、ぜひお越しください。

県内11か所のハローワークで相談窓口を開設しています。

毎週月曜日	名古屋南
毎週水曜日	名古屋東
第1、3水曜日	半田
第1火曜日	一宮
第2水曜日	刈谷
第3火曜日	春日井・豊川
第3金曜日	岡崎
第4火曜日	名古屋中
第4水曜日	豊田
第4木曜日	豊橋



「届け出」をお忘れなく

やむなく離職をされる方、定年退職をされる方、ナースセンターに届け出をお願いします。下記項目を電話、FAX、メール等でお知らせください。

- ①氏名、生年月日及び住所 ②電話番号、電子メールアドレス ③看護師等の籍の登録番号及び登録年月日
④就業に関する状況 ①就業していない ②就業していないが求職中 ③就業中・就業予定(看護師等)
④就業中・就業予定(看護師以外) ⑤学生 ⑥その他

ナースセンター



届出者

都道府県ナースセンターが中心となって、看護職員の復職支援の強化を図るため

- 看護師等免許保持者について一定の情報の届出制度を創設し、離職者の把握を徹底。
- 離職後も看護職として「つながり」を持ち、求職者になる前の段階から効果的・総合的な支援を実施できるようナースセンターの業務を充実・改善。
- 支援体制を強化するための委託制度やその前提となる守秘義務規定等関連規定を整備。

病院



離職時等の「届出」努力義務

ナースセンターの提供サービスの充実・改善

- メール等による情報提供など「求職者」になる前の段階から総合的な支援
- 就職斡旋と復職研修の一体的実施など「ニーズに合ったきめ細やかな対応」
- ハローワークや地域の医療機関との連携、サテライト展開等の支援体制強化

総合的な復職支援、潜在化予防

離職

円滑な復職



ナースセンターとは・・・

看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づいて設置されている、看護職員確保の拠点です。都道府県知事が指定し、無料職業紹介事業のほか、研修の実施・情報提供・相談などのサービスを提供しています。

●豊橋支所

〒440-0888 豊橋市駅前大通2丁目33番地の1 開発ビル4階
TEL: 0532-52-1173 / FAX: 0532-52-1166
メール: toyohashi@nurse-center.net

愛知県ナースセンター

検索

<https://www.aichi-nurse.com/>



理事会報告

第5回 理事会 令和元年12月23日(月) 14:00~17:00

協議事項

- 1 常任委員会、特別委員会の見直しについて
- 2 定款施行細則の改正について
・常任委員会の変更
- 3 定款の改正について
・役員欠格事由等
・総会議事録署名等
- 4 愛知県看護協会長表彰規程の変更について
- 5 専務理事職務代行者の順序について
- 6 令和2年度重点事業(案)について
- 7 看護のこころ募金助成要綱(案)について
- 8 令和2年度通常総会プログラム(案)について

協議1~8については、原案が承認された。

報告事項

- 1 日本看護協会理事会報告(11月29日開催)
- 2 台風19号災害における義援金について

令和2年度から研修受講料に消費税(10%)を加えて納付いただくこととなります。

研修受講料や学会の参加費などについては消費税を含んだ税込(内税)で金額を表示して来ましたが、度重なる消費税率の改正により費用が増加しているため、令和2年度より、税抜(外税)での表示に変更することとなりました。

研修や学会等に参加される方々のご負担が増えることとなりますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



訃報

慎んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

- 河嶋 昌恵様(43歳) 助産師 大同病院(平成31年2月13日永眠)
杉山 弘子様(52歳) 看護師 トヨタ自動車健康保険組合 老人保健施設ジョイステイ(令和元年9月8日永眠)
廣出 小由里様(35歳) 看護師 半田市立半田病院(令和元年11月1日永眠)
谷 文恵様(52歳) 看護師 社会医療法人杏嶺会 尾西記念病院(令和元年11月18日永眠)

表紙の写真 について

渥美半島の先端にある伊良湖岬の初日の出は、毎年多くの方が元旦に訪れるスポットになっています。晴れた日には、三重県の神島、志摩半島を望むことができます。伊良湖岬の他に恋路ヶ浜、菜の花畑など数々の魅力に溢れています。

【伊良湖観光ガイド・公式サイトより】

広報委員会 紹介

Aichi Nursing Association



7名で月1回広報委員会を開催し、協会だよりを編集しています。

協会事業の取材活動、看護界の話題についての企画など、いつもアンテナを高くし、旬の情報が提供できるように心がけています。

会員の皆様から協会だよりへのご意見をお待ちしています。

- (後列) 下久保 亮太・藤井 仁
安田 美加・青山 礼子
(前列) 和久田 月子
相田 由紀(委員長)
前野 利恵

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

去年は元号が平成から令和となり、変化の大きな年でした。今年はどうのような年になるのでしょうか。

私は年始めに1年の抱負を考えるのですが、今年は運動を1年継続して行い健康に留意していきたいと思います。

1月は「行く」、2月は「逃げる」と言われていますが、ご存知ですか。1年間のまとめや次年度の準備など忙しい時期だと思いますが、体調に留意してお過ごしください。

広報委員会は、今後も看護の情報や会員の皆様の活動を発信していけるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(広報委員 安田 美加)

●会員数 38,714人(令和元年11月30日現在)(保健師554人/助産師1,543人/看護師35,746人/准看護師871人)